

第 9 次氷見市総合計画の基本構想の変更案について

1 策定方針と施策体系との整合

策定方針

- (1) 前期基本計画の策定以降に生じた令和6年能登半島地震などの本市を取り巻く大きな社会環境等の変化に的確に対応し、前期基本計画の検証結果等を踏まえ、現実的で実効性のある計画を策定します。
- (2) 震災からの復興や人口減少等のこれまで類を見ない難局に対峙していくため、オール氷見で取り組み、活力を創造していく計画とします。
- (3) 人口減少対策として令和8年1月に策定した第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた計画とします。
- (4) 個々の施策における課題を的確に捉え、その解決に向けて、各分野別計画と整合性が取れた計画とします。
- (5) 国・県の計画や動向等を勘案して策定します。
- (6) 第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定時に様々な観点からいただいた意見等に加え、新たに実施する市民アンケートや分野別のインタビュー調査等でいただいた意見等を踏まえて策定します。
- (7) 必要なデータを収集して分析し、現状や課題等を的確に捉えて、施策を展開する計画を策定します。

1 策定方針と施策体系との整合

策定方針(1)への対応の方向性と新たな政策等のキーワード

【策定方針(1)】前期基本計画の策定以降に生じた令和6年能登半島地震などの本市を取り巻く大きな社会環境等の変化に的確に対応し、前期基本計画の検証結果等を踏まえ、現実的で実効性のある計画を策定します。

社会環境等の変化	対応の方向性	政策等のキーワード
①人口減少・少子高齢化の進行	第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	※策定方針(3)にて対応 (P.4参照)
②新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活様式の変化	二地域居住やテレワーク、オンライン会議などへの対応	✓ 交流・関係人口 ✓ 若者交流
③令和6年能登半島地震の発生	地震対策の強化（液状化対策、住宅耐震、ライフライン）、コミュニティの維持	✓ まちの強靱化 ✓ 持続可能な地域づくり
④日本経済の動向の変化	持続可能な行財政運営（物価変動、金利変動）	✓ 持続可能な行財政運営
⑤DX推進の加速化等による様々な分野でのイノベーションの創出	新技術の活用（スマート農業等）、DX推進による生産性向上	✓ 次世代の産業 ✓ 未来技術
⑥働き方やライフスタイルなど価値観の多様化	相互理解の推進、偏見の解消	✓ 共生社会

策定方針(2)への対応の方向性と新たな政策等のキーワード

【策定方針(2)】前期基本計画の策定以降に生じた震災からの復興や人口減少等のこれまで類を見ない難局に対峙していくため、オール氷見で取り組み、活力を創造していく計画とします。

対応の方向性	政策等のキーワード
オール氷見での復興と人口減少対策	✓ オール氷見 ✓ 活力創造 ✓ 創造的復興

1 策定方針と施策体系との整合

策定方針(3)に関する新たな政策等のキーワード

【策定方針(3)】人口減少対策として令和8年1月に策定した第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた計画とします。

基本目標（総合戦略）	基本的方向（総合戦略）	政策等のキーワード
【基本目標Ⅰ】 魅力的な地域をつくる	1. 将来に希望が持てるまちをつくる 2. 地域の持続性を確保する	✓ 賑わいにあふれるまち ✓ 若者や女性に選ばれるまち ✓ 持続可能な地域づくり
【基本目標Ⅱ】 仕事をつくる	1. 本市の特長を活かした産業を振興して魅力的な仕事をつくる 2. 産業全体を活性化し、稼ぐ力を強化する 3. 若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる	✓ 「食」「自然・景観」を生かしたまち ✓ 次世代の産業 ✓ 若者や女性に選ばれる産業 ✓ 共生社会
【基本目標Ⅲ】 人の流れをつくる	1. 若者や女性に選ばれ、移住者やUターン者を増やす 2. 市内に定住する若者や女性を増やす 3. 観光などの交流人口や関係人口、二地域居住者を増やす	✓ 若者や女性の仕事づくり ✓ 持続可能な地域づくり ✓ 選ばれる地域づくり ✓ 共生社会
【基本目標Ⅳ】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1. 結婚数を増やす 2. 出生数を増やす 3. 転入による子どもの数を増やす	✓ 結婚・出産・子育てしやすい環境づくり ✓ こどもまんなか社会

※「政策等のキーワード」検討の詳細な資料（施策レベルでの検討資料）は、P.15～18に記載してあります。

1 策定方針と施策体系との整合

策定方針(4)

個々の施策における課題を的確に捉え、その解決に向けて、各分野別計画と整合性が取れた計画とします。

策定方針(5)

国・県の計画や動向等を勘案して策定します。

令和8年度に策定を予定している「氷見市地域福祉計画」や「氷見市教育振興基本計画」などの策定過程において、総合計画の進捗状況に合わせて、それぞれの計画の方向性等の調整を行い、整合性の取れた計画とするほか、昨年度策定済みの「氷見市こども計画」や「氷見市空家等対策計画」などとの整合を図る。また、昨年度策定された「富山県総合計画」や国・県の動向、社会情勢等を勘案した計画とする。

策定方針(6)

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定時に様々な観点からいただいた意見等に加え、新たに実施する市民アンケートや分野別のインタビュー調査等でいただいた意見等を踏まえて策定します。

策定方針(7)

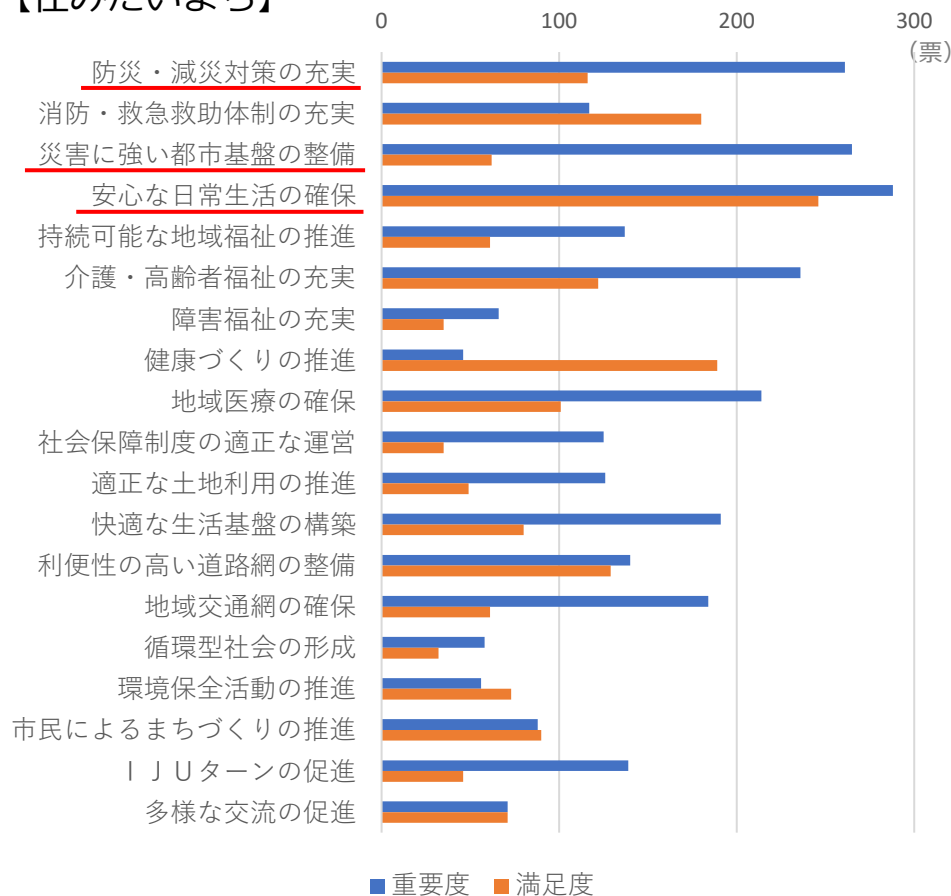
必要なデータを収集して分析し、現状や課題等を的確に捉えて、施策を展開する計画を策定します。

令和8年4月に実施した市民アンケートや第3期総合戦略策定時にいただいた意見のほか、人口ビジョンや様々なデータの分析結果を踏まえた計画とする。

1 策定方針と施策体系との整合

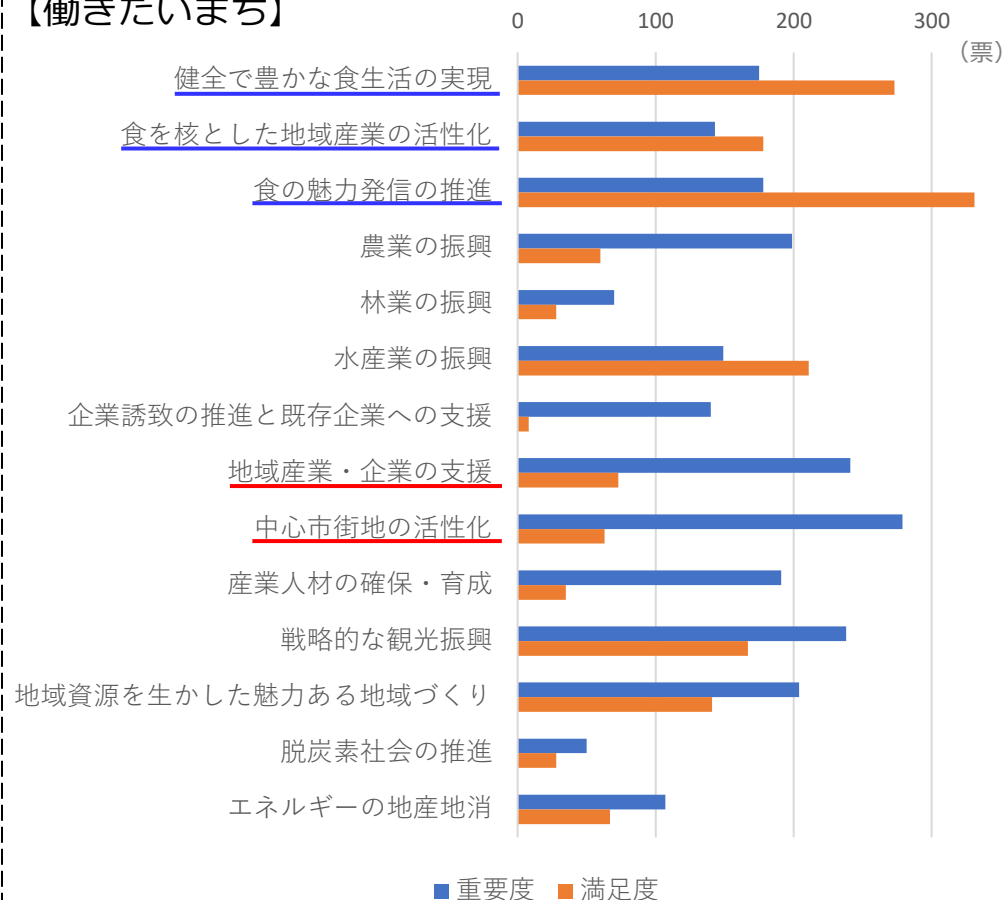
＜市民アンケート結果＞ 施策ごとの重要度と満足度（それぞれ3つまで）

【住みたいまち】



「安心な日常生活の確保」「災害に強い都市基盤の整備」「防災・減災対策の充実」が重要度の上位3項目であることに加え、「災害に強い都市基盤の整備」と「防災・減災対策の充実」では、満足度が重要度を大きく下回っている。能登半島地震の影響等により、災害に強い地域づくりを求める声が多いことが見受けられる。

【働きたいまち】

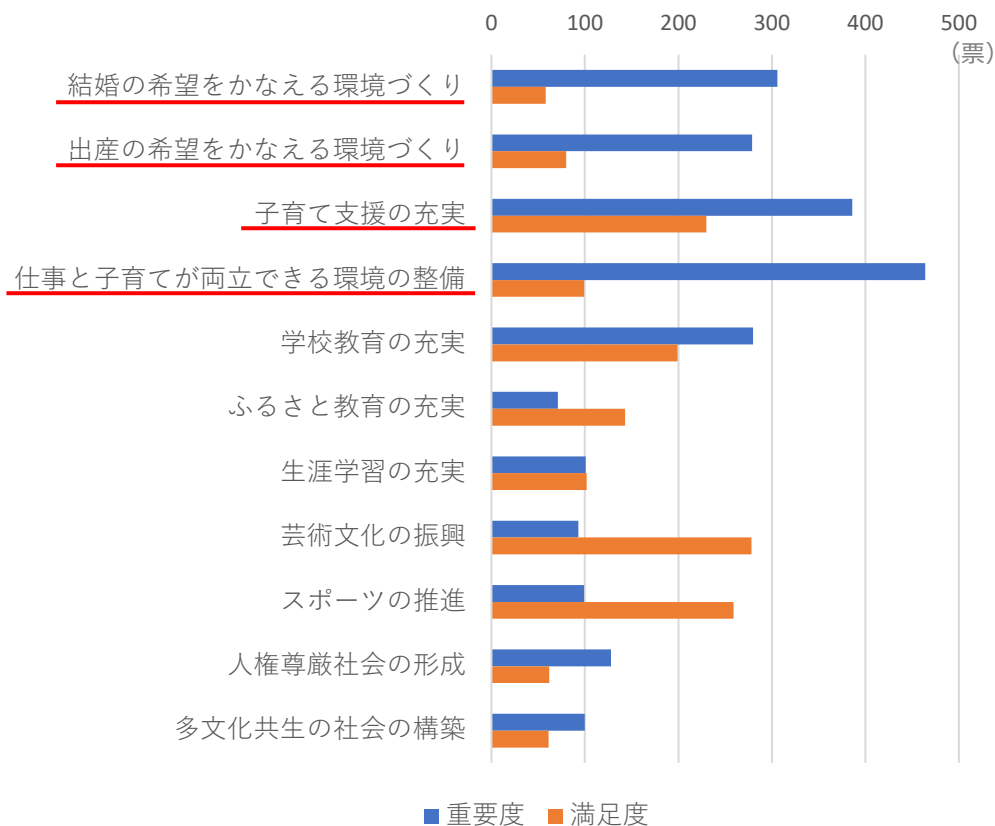


「中心市街地の活性化」「地域産業・企業の支援」が重要度の上位2項目であり、いずれも満足度が低い。一方「食の魅力発信の推進」などの「食」に関する3項目が満足度の上位3項目となっている。市民満足度が高い「食」の魅力を効果的に発信するとともに、企業支援などの仕事づくりや中心市街地の賑わい創出を推進する必要がある。

1 策定方針と施策体系との整合

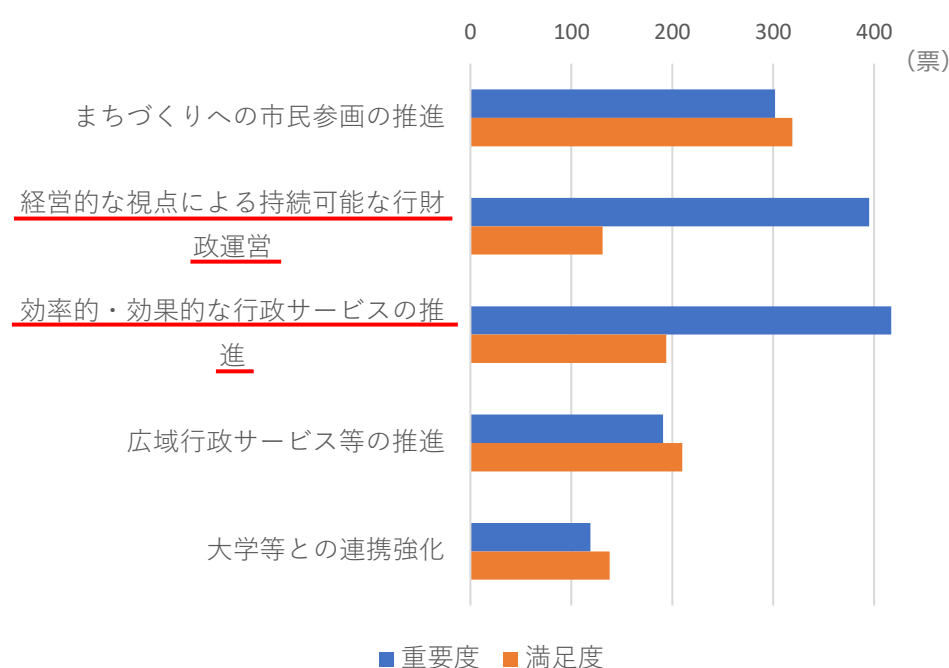
＜市民アンケート結果＞ 施策ごとの重要度と満足度（それぞれ3つまで）

【育てたいまち】



「仕事と子育てが両立できる環境の整備」「子育て支援の充実」「結婚の希望をかなえる環境づくり」「出産の希望をかなえる環境づくり」の4項目（結婚から子育てまでのそれぞれのステージに関する項目）は重要度が高いが満足度が低い。
結婚、出産、子育てのすべてのステージでの支援の強化・充実が求められている。

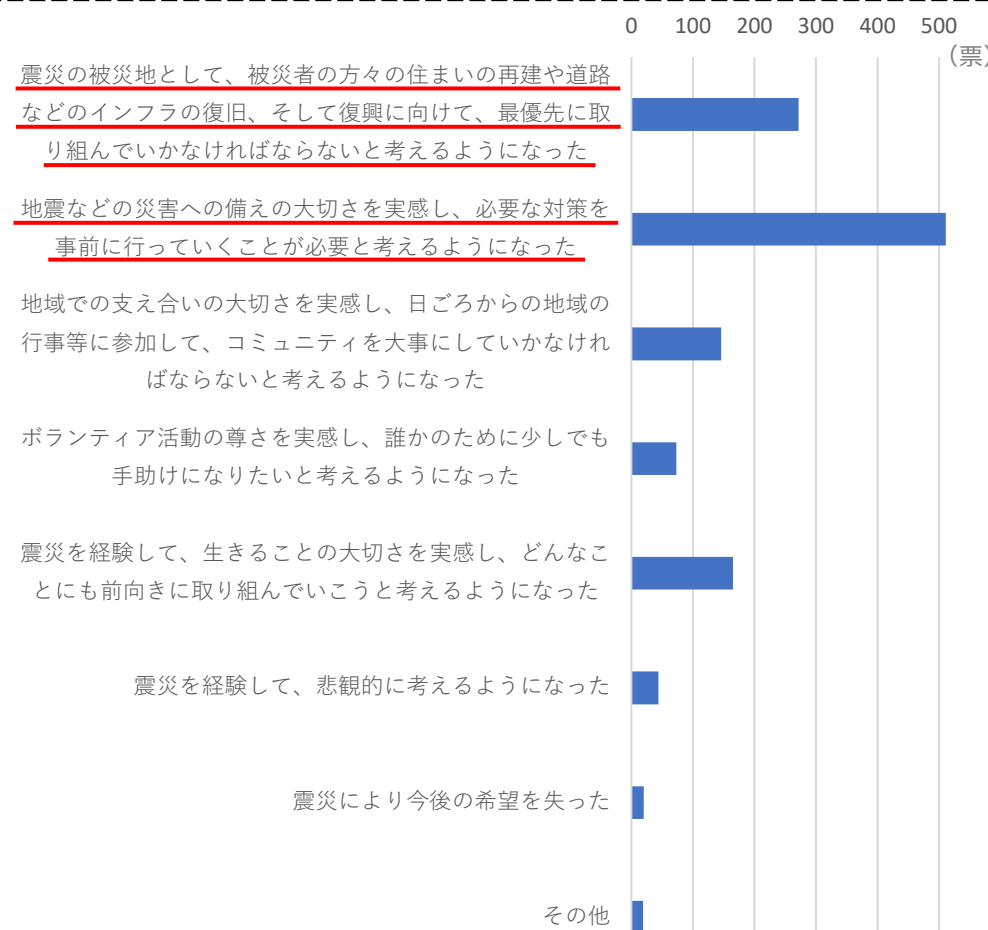
【市民とともに作る持続可能なまち】



「効率的・効果的な行政サービスの推進」と「経営的な視点による持続可能な行財政運営」が重要度の上位2項目であり、満足度が重要度を下回っているものはこの2項目のみである。
効果的な行政サービスを推進し、将来にわたり持続可能な行財政運営を継続していくことが求められている。

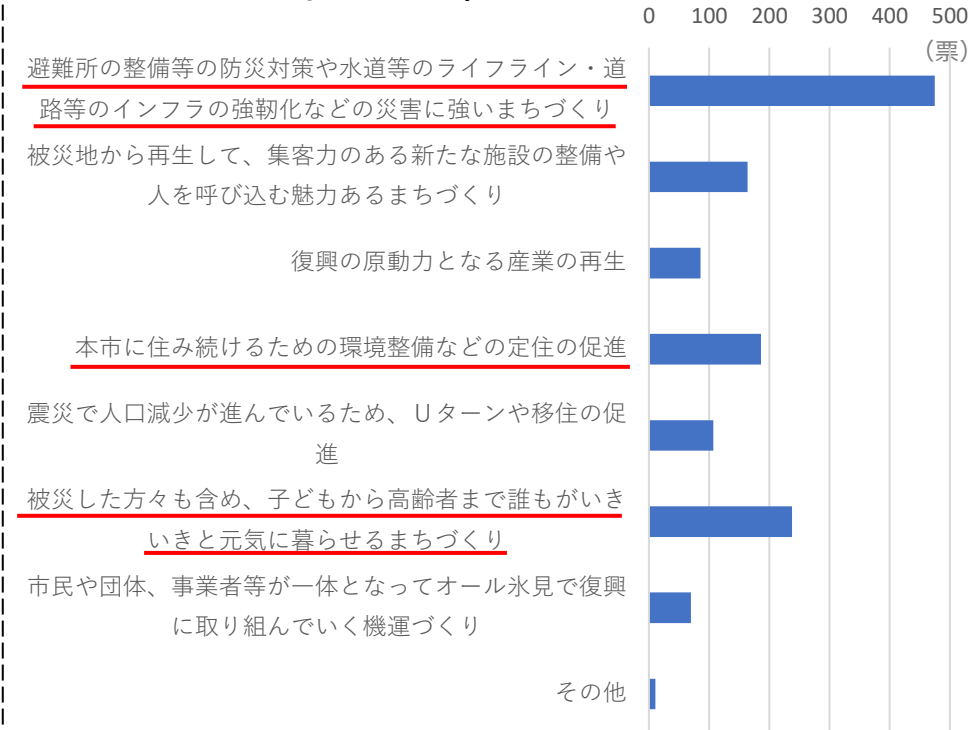
1 策定方針と施策体系との整合

能登半島地震のあなたの価値観や今後の考え方などへの影響（2つまで）



6割以上の回答者が「必要な対策を事前に行っていくことが必要と考えるようになった」を選択し、次いで、「復旧・復興に最優先に取り組んでいかなければならないと考えようになった」を選択している。防災・減災対策を充実させるとともに、引き続き、復旧・復興に最優先に取り組み、復興まちづくりを推進する必要がある。

能登半島地震からの復興に向けて力を入れていかなければならないこと（2つまで）



半数以上の回答者が「避難所の整備等の防災対策や水道等のライフライン・道路等のインフラの強靱化などの災害に強いまちづくり」を選択し、次いで「誰もがいきいきと暮らせるまちづくり」や「定住の促進」を選択している。能登半島地震を教訓として、ライフラインの強靱化などを通じた災害に強いまちづくりを進めるとともに、活力があふれるまちづくりを進める必要がある。

以上の「政策等のキーワード」や市民アンケート結果に基づき、第9次氷見市総合計画の「基本理念」や「基本目標」等について、次ページ以降のとおり変更を行う。8

2 まちづくりの考え方（基本理念）の変更（案）

【変更理由】

前期基本計画の策定以降、能登半島地震の発生など、本市を取り巻く社会環境等が大きく変化していることから、市民アンケート結果等も踏まえ、内容を変更するもの。

本市のまちづくりを展望するとき、DX推進の加速化等による様々な分野でのイノベーションの創出や、働き方・ライフスタイルなどの価値観の多様化など、社会環境等が目まぐるしく変化する中、令和6年能登半島地震からの復旧・復興や人口減少・少子高齢化の進行、後継者不足による地場産業の衰退など解決すべき課題は多く、人口減少のカーブを緩やかにするとともに、人口が減少しても市民が幸せに暮らせる氷見をつくるにあたり、重要な時期を迎えています。

先人から受け継がれてきた歴史・文化を継承しながら、こどももまんなか社会や共生社会を実現し、明るく希望が持てる「未来づくり」を実現します。また、震災を教訓として災害に強く安全・安心で、活力と賑わいのある持続可能な「地域づくり」、「ひみ寒ぶり」や魅力的な里山・里海等に代表される氷見の食・自然・景観等を生かし、若者や女性をはじめ誰もが活躍できる「産業づくり」を実現します。

加えて、甚大な被害をもたらした能登半島地震からの復旧・復興を、単なる原状回復ではなく、新たな価値を生み出す「創造的復興」として「オール氷見」で成し遂げるほか、SDGsの考え方に基づく誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現や、未来技術等の活用による諸課題の克服、多様な人材の活躍や活発な交流によるまちづくりを推進します。

持続可能な氷見の未来に向け、人と人とのつながりを大切にしながら、誰もが氷見の自然・食・文化に誇りと愛着を持ち、震災以前にもまして「活力と賑わいのある『ひみ』」を創造します。

3 基本目標及び政策の変更（案）

【変更理由】加速度的に少子化が進行する中、若者の減少や互いを尊重しあえる社会の構築が課題となっている。氷見市を将来に希望が持てるまちとするためには、**結婚・出産・子育てのライフステージでの切れ目のない支援**や、**こどもまんなか社会の実現**、**誰もが活躍できる共生社会の実現**を強力に推進し、明るい未来をつくっていく必要がある。

基本目標3 **育てたいまち**

政策（前期計画）	主な施策等の内容
結婚・出産しやすい環境づくり	結婚・出産に対する支援・環境づくり
仕事と両立できる子育て支援の充実	子育て支援、仕事と子育てが両立できる支援
次代を担う子どもの育成	学校教育の充実（学力、心、体、教育環境、校種間連携）
芸術文化や学びの充実	ふるさと教育、生涯学習、芸術文化、スポーツ
一人ひとりが尊重される社会の実現	人権尊重社会の形成、多文化共生社会の構築

基本目標1 **未来づくり**

政策（後期計画・案）	主な施策等の内容
結婚・出産・子育てしやすい環境づくり	結婚・出産・子育てのライフステージでの切れ目のない支援や対策
こどもまんなか社会の実現	こどもまんなか社会の意識醸成、子どもの意見反映、みんなで子どもを育てる地域づくり（遊び場、居場所）
次代を担う子どもの育成	学校教育の充実（学力、心、体、教育環境、校種間連携）
芸術文化や学びの充実	ふるさと教育、生涯学習、芸術文化、スポーツ
共生社会の実現	誰もが活躍できる社会づくり（人権、アンコンシャスバイアス、多文化）、脱炭素地域づくり、環境保全

3 基本目標及び政策の変更（案）

【変更理由】新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に地域の活力が低下していく中、能登半島地震の影響により人口減少が進み、地域の持続性が失われつつある。まちの賑わいと地域の活力を取り戻すためには、**震災を教訓とした災害に強い地域づくり**を進めるとともに、**持続可能な地域づくり**と**活力と賑わいのある地域づくり**の両面を推進する必要がある。

基本目標1 **住みたいまち**

政策（前期計画）	主な施策等の内容
災害に強い安全・安心なまちづくり	自然災害防止対策、消防・救急救助、交通・防犯、消費者保護対策
誰もが元気に過ごせるくらしの充実	地域福祉、介護・高齢者福祉、障害福祉、健康づくり、地域医療確保
快適で住みやすい都市環境の整備	適正な土地利用、生活基盤整備、道路網整備、地域交通網確保
人と自然が共生する環境づくり	循環型社会、環境保全
活気にあふれる地域づくり	市民によるまちづくり、移住促進、交流・関係人口創出

基本目標2 **地域づくり**

政策（後期計画・案）	主な施策等の内容
震災を教訓とした強くしなやかな地域づくり	地震被害防止対策（液状化対策、ライフライン強靱化、避難所機能強化等）
安全・安心な地域づくり	自然災害防止対策、消防・救急救助、交通・防犯、消費者保護対策
誰もが元気に過ごせるくらしの充実	地域福祉、介護・高齢者福祉、障害福祉、健康づくり、地域医療確保
快適で住みやすい都市環境の整備	適正な土地利用、生活基盤整備、道路網整備、地域交通網確保
※未来づくり「共生社会の実現」へ移行	
持続可能で活力ある地域づくり	復興まちづくり、市民によるまちづくり、地域づくり、 定住促進 、 空き家・空き地の活用
賑わいにあふれる魅力的な地域づくり	移住・Uターン促進、交流・関係人口創出、 中心市街地の活性化 、 交通システム

3 基本目標及び政策の変更（案）

【変更理由】震災による人口減少や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少に加え、長期化する物価高や不安定な国際情勢等の影響により、市内経済の活性化が課題となっている。市内経済の活力を取り戻すためには、**若者や女性に選ばれ、活躍できる仕事づくり**を推進するとともに、**氷見市の強みを生かした魅力的な産業づくり**を進めていく必要がある。

基本目標2 働きたいまち

政策（前期計画）	主な施策等の内容
食を生かしたまちづくり	豊かな食生活、食を核とした産業、食の魅力発信
持続可能な農林水産業の振興	農林水産業の振興
商工業の活力が持続・発展するまちづくり	企業誘致と既存企業支援、産業人材の確保・育成、中心市街地の活性化
戦略的な観光の振興	戦略的な観光振興
エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進	脱炭素化社会、エネルギーの地産地消

基本目標3 産業づくり

政策（後期計画・案）	主な施策等の内容
「食」や「自然・景観」を生かしたまちづくり	「食」「自然・景観」を生かした産業の創出・地域活性化・魅力発信・文化継承
若者や女性が活躍できる仕事づくり	若者・女性に選ばれる仕事づくり、若者・女性の雇用創出
持続可能な農林水産業の振興	農林水産業の振興
商工業の活力が持続・発展するまちづくり	企業誘致と既存企業支援、産業人材の確保・育成
戦略的な観光の振興	戦略的な観光振興
※未来づくり「共生社会の実現」へ移行	

3 基本目標及び政策の変更（案）

【変更理由】人口減少や少子高齢化が進む中、今後、市税等の減少により財政運営が厳しさを増すことが見込まれる。社会環境や市民ニーズの変化に対応しつつ、財政の健全性を確保し続けるためには、**経営的な視点による持続可能な行財政運営**を行うとともに、**市民や民間企業、各種団体などが「オール氷見」で持続可能なまちをつくっていく必要がある。**

基本目標4 **市民とともに作る 持続可能なまち**

政策（前期計画）	主な施策等の内容
市民主体のまちづくり	まちづくりへの市民参画の推進
効率的な行財政運営	経営的な視点による持続可能な行財政運営、効率的・効果的な行政サービスの推進
広域、大学連携の推進	広域行政サービス等の推進、大学等との連携強化

基本目標4 **みんなで作る 持続可能なまち**

政策（後期計画・案）	主な施策等の内容
オール氷見でのまちづくり	まちづくりへの市民 や民間企業等の参画の推進、発信力の強化
効率的な行財政運営	経営的な視点による持続可能な行財政運営、効率的・効果的な行政サービスの推進
広域、大学連携の推進	広域行政サービス等の推進、大学等との連携強化

4 横断的分野の変更（案）

【変更理由】能登半島地震からの復旧復興を最優先に進めるとともに、その復興を単なる原状回復にとどめず、新しいステージの「氷見」へと進む力に変えていく「創造的復興」を実現するためには、本市の再生に向けた投資を「オール氷見」で横断的に実施する必要がある。加えて、若者や女性をはじめとして誰もが活躍できる環境づくりを推進する必要がある。

横断的分野 横断的に推進するもの

内容（前期計画）	主な取組内容
多様で活発な交流の推進	市の魅力発信や教育・文化・スポーツを通じた交流推進
未来技術の活用	地域における情報通信基盤等の整備をはじめとした未来技術の活用
SDG s の推進	誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現
多様な人材の活躍推進	多様な人々が地域の担い手として活躍できる環境づくり

横断的分野 横断的に推進するもの

内容（後期計画・案）	主な取組内容
オール氷見での創造的復興	新しいステージの「氷見」へと変えていくための再生に向けた投資
多様で活発な交流の推進	市の魅力発信や教育・文化・スポーツを通じた交流推進
未来技術の活用	地域における情報通信基盤等の整備をはじめとした未来技術の活用
SDG s の推進	誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現
若者や女性など多様な人材の活躍推進	若者や女性など 多様な人々が地域の担い手として活躍できる環境づくり

【参考】総合戦略の各施策への「対応の方向性」と「政策等のキーワード」

総合戦略 基本目標Ⅰ 魅力的な地域をつくる

<基本的方向1 将来に希望が持てるまちをつくる>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 多くの人が訪れる魅力的なまちをつくる ✓ 城端線・氷見線の再構築を活性化につなげる ✓ 若者や女性に好まれる景観づくりを推進する	まちの魅力向上による賑わい創出、若者や女性に選ばれるまちづくり	✓ 賑わいにあふれるまち ✓ 若者や女性に選ばれるまち

<基本的方向2 地域の持続性を確保する>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 市民病院を核として地域の医療を守り、公共交通の確保や移動販売支援等により暮らしを守る ✓ DX・機械化を促進し地域の担い手を育成する ✓ 地域コミュニティ維持に向け、獅子舞等の持続性を確保し、その魅力を発信する	暮らし・医療・地域活動の維持	✓ 持続可能な地域づくり

【参考】総合戦略の各施策への「対応の方向性」と「政策等のキーワード」

総合戦略 基本目標Ⅱ 仕事をつくる

<基本的方向1 本市の特長を活かした産業を振興して魅力的な仕事をつくる>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 「食」「自然・景観」を活かした観光、飲食、宿泊及び農林水産業等が一体となった新たな産業を創出する	「食」「自然・景観」を生かした産業振興	✓ 「食」「自然・景観」を生かしたまち

<基本的方向2 産業全体を活性化し、稼ぐ力を強化する>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 若者・女性の能力等を活かすとともに、DXを促進して労働生産性を向上させ、労働条件の改善につなげる	若者や女性の能力を生かした生産性向上	✓ 次世代の産業 ✓ 若者や女性に選ばれる産業

<基本的方向3 若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 若者や女性に魅力的な企業等を誘致する ✓ アンコンシャス・バイアスを解消するとともに、就業環境や子育てしやすい職場環境などの改善を促進する	誰もが活躍できる場の確保	✓ 共生社会

【参考】総合戦略の各施策への「対応の方向性」と「政策等のキーワード」

総合戦略 基本目標Ⅲ 人の流れをつくる

<基本的方向1 若者や女性に選ばれ、移住者やUターン者を増やす>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 移住・Uターンしやすい環境等の充実 ✓ 基本目標Ⅱ「仕事をつくる」と連動して、若者や女性の移住やUターンにつなげる ✓ 氷見高校生の全国募集による第二のふるさとづくりの推進	仕事と連動した若者や女性の移住・Uターンの促進、地域の魅力化と連動した交流・関係人口	✓ 若者や女性の仕事づくり ✓ 選ばれる地域づくり

<基本的方向2 市内に定住する若者や女性を増やす>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 定住支援策の拡充や空き地・空き家の活用などによる氷見市で住み続ける環境の整備	定住支援策や空き家・空き地対策の充実	✓ 持続可能な地域づくり

<基本的方向3 若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる>

総合戦略での施策	対応の方向性	政策等のキーワード
✓ 若者や女性に魅力的な企業等を誘致する ✓ アンコンシャス・バイアスを解消するとともに、就業環境や子育てしやすい職場環境などの改善を促進する	誰もが活躍できる場の確保	✓ 共生社会

【参考】総合戦略の各施策への「対応の方向性」と「政策等のキーワード」

総合戦略 基本目標Ⅳ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

＜基本的方向1 結婚数を増やす＞

＜基本的方向2 出生数を増やす＞

＜基本的方向3 転入による子どもの数を増やす＞

